Appeal Corner

今月から模様替えしました。広くメンバーの方が利用できるようなスタイルを取り入れました。最初の利用者は綾野です。
写真展は24日迄ですので是非足を運んでください！
※12月号の私は誰でしょうは高橋四郎ワイズでした。
当時は国体の選手だったそうです

HAPPY　BIRTHDAY

1月　1日　江馬　一　君
3日　中田　稔　君
5日　宝田　昌孝　君
13日　鈴木　規雄　君
16日　池島　恒雄　君

MENETTES　HAPPY　BIRTHDAY

7日　勝又　洋子さん

WEDDING　ANIVERSARY　該当なし

第 7 回　役員会 報告

宝田　昌孝

2019 年 1 月 6 日(日)　熱海 YMCA センター

勝又会長挨拶:変化の年のような気がする。残りの6月までの間頑張っていきましょう。クリスマス例会には多くの人に集まってもらい楽しくできた感謝します。

議題

1 **次期会長選出の件**:毎年難しい状況にあるのを承知の上で、選考委員会が、責任を以て指名とその対応あたる。例会に報告する。
2 **クリスマス家族会会計報告の件**:　承認
1 **富士山部第2回役員会・評議会:**議案があれば提案してください。 27 日(日)　集合場所センター2時半出席予定 勝又、宝田、藤間、小野田、陣内、加藤
4 DBC 3クラブ**合同例会懇親会の件**:、紀の川坂本様、名古屋谷川様と連絡の結果　ホストクラブグローリーに一任との事。次回協議の予定。

＊委員会報告＊

プログラム:1月新年例会プログラム発表。

ドライバー:富士山部役員会・評議会の出席6名予定
会報・広報:校正15日(火)　発送16日
「軌跡」の連載終了、後は菅谷 Ys が数回にわたり「鉄砲をすてた日本人」を解説。
親　　睦:クリスマス家族会会計報告　日帰りバス旅行次回に計画説明。
CS・　TOF:特に無し。
MCA・ASF・EMC・会則:特に無し
BF･EF･IBC･DBC･YEEP:年賀はがき当選切手は、1月例会に収集。古切手は1,2月が収集月
年賀広告代各自負担 1000 円
その他:YMCA 新年会1月10日ホテル聚楽会費 8000 円

出席者;　勝又,藤間,菅谷,高橋(敏),綾野(5名)

今 後 の　イベント

◎1月23日(水) 切手収集キャンペーン（例会に収集）

◎2月9～10日(日) YMCA スキー教室（小3~中3)
問合わせは熱海クラブ 05075022610

◎2019年6月1日(土)~2日(日)第22回東日本区大会
会場:国立オリンピック記念青少年総合センター

2019年　2月　　例会担当予告
例　　会　2月27日(水)　場　所　YMCAセンター
受　　付　陣内　康策君　　藤曲　敬宏君
司　　会　中田　稔君　開会の祈り　藤間　孝夫君
ワイズの信条 高橋　四郎君　食前の祈り　江馬　一君
閉会の言葉　綾野　憲夫君

熱海YMCA 俳句 十二月 句会

うっぽこぽん初春調のかけ流し　のり夫
枯葉とぶ猫飛び出す杜のうら　隆吉
流星を寝転んでみる冬の夜　道子
余生なをなすことあらむ冬椿　銀次郎
数の子や息子ら三組孫五人　正子
通りより居間透け見ゆる師走かな　治
ひとり酒月皓皓と影も酔ひ　裕保
木枯らしに襟立ていそぐ家路かな　政ひろ
着ぶくれて媼四人のグリーン席　和子

"To ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT" (International Motto)
THE SERVICE CLUB OF THE Y M C A
THE Y'SMEN'S CLUB OF
Atami Glory
2019 1 No.413
CHATERED 2.May.1984　P.O.BOX 44ATAMI　熱海郵便局私書箱44号

国際会長主題
“Yes ,We can change”
『私たちは変えられる』
東日本区理事主題
『為せば、成る』
“No challenge,No fruit”

今 月 の 聖 句
主に望みをおく人は新たなる力を得
鷲のように翼を張って上がる。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない。
イザヤ書40章31節

アジア地域会長主題
“Action”
『アクション』
富士山部部長主題
『生き活き!ワクワク!仲間と共に!』

クラブ会長主題 『奉仕は、元気で仲良く』“The Service with Lively and Friendly”

2019年新年例会プログラム

日　　時	1月 23日(水)	18：30～21：00
会　　場	KKRホテル熱海	
受　　付	鈴木規雄 君	高橋敏雄 君
司　　会		小野田政弘 君
開会点鐘	会　長	勝又隆吉 君
聖句朗読・開会の祈り		藤井銀次郎君
ワイズソング	全　員	
ワイズの信条		宝田昌孝 君
会長挨拶	会　長	勝又隆吉 君
ゲスト・ビジター紹介	会　長	勝又隆吉 君
富士山部長公式訪問		渡邉実帆部長
書記報告		宝田昌孝 君
食前の祈り		綾野憲夫 君
会　食		
委員会報告		各委員会
誕生日・結婚記念日祝		司　会　者
スマイル		親睦委員会
出席･スマイル･Y基金報告		担当委員会
閉会の言葉	会　長	勝又隆吉 君
閉会点鐘	会　長	勝又隆吉 君

2018年12月クリスマス家族例会

CS委員長　加藤博

12 月 19 日、今年も恒例の家族例会を開催しました。 YMCAにとっても大切なクリスマス、賛美歌でのスタートは、歳の瀬ということも相まって、心が洗われる気持ちになります。メネットさんも多数、高橋、藤曲ファミリーも参加され、和やかな雰囲気で始まりました。 冒頭は、故竹内敏郎ワイズが会長を務めていた、国際交流協会さんから、ご挨拶と、イベント紹介がありました。駆け足で第一部定例会を終え、さあ、第二部のパーティーが始まりました。壇上に立つ中田稔ワイズの威勢良さも健在です。まずは各委員会からの表彰発表。メインのクラブアワードは私CS委員長が担当しました。前年度は勝又会長は勿論ですが、部役員の貢献が目立ちました。海外派遣は見事、綾野ワイズが獲得、夏の仙台アジア大会に向けて、準備となりそうですね。おめでとうございます。

宴もたけなわ、もうひとつのお楽しみ、ビンゴ大会のスタートです。ここは皆さん真剣勝負、番号確認に余念がありません。最終的には全員商品獲得したようですね。さらに続けてカラオケタイムが始まりました。ここでまた、中田ワイズの三郎節が炸裂、一気に盛り上がってスタート。高橋敏雄ファミリー、綾野夫妻、レアーな藤曲親子デュエットもあり、微笑ましい一幕でした。あっという間の時間が過ぎ、最後は恒例の賛美歌「また会う日まで～♪」を皆で手を繋ぎ輪になって、歌いました。皆様 1 年間ありがとうございました。今年も 1 年よろしくお願い致します。あとは、有志で高橋四郎ワイズのお店で 2 次会を開催しました。

12　月 例 会 実 績

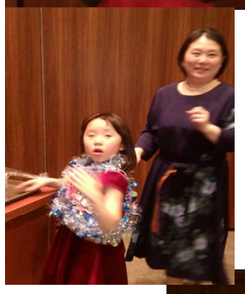
在籍者　17 名	（内ニア会員 1 名）		スマイル&YMCA 基金		BF　目標　1 人　8,000pt
出席者　16名	ゲスト　1 名		スマイル　19,000 円		現金 pt　切手 P
メーキャップ　名	ビジター　1名		スマイル累計　175,100 円		12月　16,000円
出席率　93%	メネット　7名		YMCA 基金　6,210 円		累　計　88,000 円
月訂正出席率　%	出席者合計 25 名		YMCA 基金累計　27,116 円		総　計　円

例会写真集

← 勝又会長挨拶

↓誕生日祝い陣内、藤曲

←今年も同じサンタさん



↑幾つになってももらうのは 嬉しい藤井 Ys

↓娘さんとのデュエツト藤曲 Ys

↑高橋ファミリー

↓皆の輪

所感　平成最後の新年

会長　勝又隆吉

新年明けましておめでとうございます。
穏やかに新年を迎えられた事、心よりお喜び申し上げます。今年から年号が変わり、平成最後のお正月となります。私達グローリークラブは会員数17名のスタートです。元号が新しくなり、価値観も益々変わってきます。クラブの運営も今までとは違った運営をして行かなければ衰退していきます。

100年に近いワイズの歴史の中で、1984年に誕生したグローリークラブ、熱海クラブではベテラン会員が多くなったため若い会員が遠慮せずに活動してもらいたいという配慮で二つに分かれて誕生したとのことです。今年で早35年になります。

この折角のチャンスです。思い切って改革を断行し新しい時代に沿ったクラブ運営をすべきだと思います。

非常な早さで高齢化が進み、経済的にも苦しい状態になりつつあります。メンバーの確保もままならず、組織運営の人選にも苦慮しております。このような現実を見るにあたって、これからの活動をどの様に具体化するか、メンバーの皆様がその気になって貰い、考えていこうではありませんか。

グローリークラブは『永遠に不滅です』と誰かが言っておりました。皆さん頑張りましょう。楽しく元気で！今後とも宜しくご協力のほどお願いいたします。

ワイズメンの高齢化

広報会報委員会

最近我クラブの会合の折々に会員の高齢化が話題になっております。勝又会長が所感で説明されているように特にグローリークラブは、発足の時点から高齢化が避けられない状況の中で誕生したのです。ある意味でやむを得ない結果なのかもしれません。

しかし、藤井 Ys のように若手(？)に負けないような活動をされる方もおられます。わがクラブでも藤井 Ys を目標にしている方々も多くおられます。他のクラブではどうなんだろう？活動の限界はどのくらいなのだろう？そんな動機で委員会でロスターを頼りに東日本区の長老の方々ランキングしてみました。

富士山部では最長老ということは分かっておりましたが、さて全国的には？。

生年月日	氏名	クラブ名
1918.09.05	庄野久男	東京西
1923.07.05	阿山剛生	東京むかで
1925.06.29	岡久雄	仙台
1926.08.31	竹内隆	東京西
1927.03.08	有田士朗	東京町田
1927.07.05	布能壽英	甲府
1927.11.22	奥峪力	東京ひがし
1927.09.02	藤井銀次郎	熱海グローリー
1929.10.31	小峰理孝	埼玉
1929.02.27	平原貞美	甲府

平成３０年度熱海市市民安全大会

B 副会長　小野田政弘

12月17日月曜日　午後1時半より渚小公園で開催されました。市内関係80団体から約500名（主催者発表）我が熱海グローリークラブは5名、勝又隆吉会長、藤井銀次郎君、菅谷正君、高橋四郎君、小野田政弘、（藤曲敬宏君は県会議員として）が参加いたしました。

斉藤栄市長、川口健市議会議長、藤曲敬宏県議会議員が挨拶された後、奥田交治熱海警察署長が「安全安心と熱海の繁栄はうまい関係にあるのかなと思う」また「安全安心、夢であるとか希望であるとかいったものも熱海の発展には必要なのかもしれません」とお話しされました。そして熱海のヒーロー・機動巨人「ラインアスロック」と熱海警察署独自の非公式キャラクター「110マン」を紹介しました。その後、鈴木秀旺市町内会連合会会長が大会宣言(案）を朗読。出席者の大半の拍手でこれを採択して大会宣言となりました。大会宣言の実現のために

一飲酒運転は　しない　させない　飲ませない
一暴力団を 恐れない お金を出さない 利用しない
一安全・安心で住みよいまち「あたみ」の実現に向けて邁進する。

と具体的に行動ルールが説明されました。

その後全員で、パトカーを先導に「ラインアスロックと110マン」も一緒にパレードをおこないあたみの良さをピーアールして回りました。
渚小公園14時国道135号上り中央交差点あたみ梅ライン市役所前交差点→清水町商店街・もろこし通り渚小公園14時40分で自由解散となりました。

↑参加者左から菅谷、藤井勝又、高橋四、小野田

解説「鉄砲を捨てた日本人」

日本史に学ぶ軍縮

菅谷　正

16世紀後半の日本は、非西欧圏で唯一、鉄砲の大量生産に成功し西欧のいかなる国にも勝る鉄砲使用国となった。にも拘らず江戸時代を通じて日本人は鉄砲を捨てて刀剣の世界に舞い戻った。歴史に於いて起こるべからざることが起こったのである。同時代の西欧では鉄砲の使用・拡大によって戦争に明け暮れていたことを考えると、この日本の示唆するところは大きい。

その事は世界に例のない、ほとんど世に知られていない歴史上の出来事である。高い技術を持った文明国が自発的に高度な武器を捨てて古い武器に逆戻りする道を選んだ。そしてその国日本はこの逆戻りの道を選びとって成功した。

武器の変遷を辿ると古代、棍棒、槍、弓だったのが鉄砲が伝わり、日本はその武器を改良、増産しました。西洋諸国よりもましてその数は多かった。

日本に鉄砲が伝来したのは西暦1500年のはじめ、中国の貨物船が種子島の小さな入り江に漂着した。船の名前はあったにしても記録に残っていない。しかし、100余名の乗組員についてはかなりの記録がある。乗組員の多くは当時何処にもいた海賊兼商人の中国人で 、名を五峯といった。ほかにポルトガルの冒険家が三人いた。ポルトガルは1510年以来、インド洋に領有地を持ち、広く極東地域に進出し始めていた。乗船していた3名は日本にたどり着いたことで知られる最初のヨーロッパ人である。

そのポルトガル人のうち二人が火縄銃と弾薬を持っていた。その一人が標的を定めて鴨を撃つのを種子島の領主が見たのが契機となって、鉄砲は日本史に登場することとなった。

参考図書
「鉄砲を捨てた日本人」ノエルペリン著 川勝平太訳
著者プロフィール　1927 年ニューヨーク生まれ
ケンブリッジ大学大学院　ダートマス大学英米文学教授
小農場を持ち牛を飼い、メイプルシロップ等を作っている。著書多数
訳者プロフィール川勝平太 1948 年京都生まれ
早稲田大学政治経済学部大学院修士　オックスフォード大学博士　早稲田大学政治経済学部教授　国際日本文化研究センター教授　静岡文化芸術大学学長
現在静岡県知事　役所、著書多数